

事業所における自己評価結果表

令和4年3月31日

株式会社トイシス リトル&ジュニア

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室の面積を多くとるように設備、什器等を配置している	コロナ収束が先の様相なので更に面積を広く取る様に什器備品を移動。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			業法で定められている員数以上の職員が居る。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		館内はほぼバリアフリーだが屋外から正面玄関には階段がある。	ビル構造上の問題だが職員が利用者を支持することに対応している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			電子デバイス活用施策に変更完了	各位が用意にプランニング→考察→報告相談等ができるようになった。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者からの意向は随時承っているはずだが前年同様保留状態が継続しているケースも見られる	言い訳だが、コロナ対応に追われており満足な業務改善に繋がっていない
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者指定機関による外部評価は受けていないが有識者の外部評価は受けている。	館内への入場制限があり、第三者の立ち入り、視察を制限している
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		前述の通り短時間パートタイマーに対しての研修機会を得ることが困難な状況となっている。	コロナ対策のため特別休暇等を与えており充分な対応策を見いだしてはいない。自宅待機、特別休暇中職員が増となった1年であった
適切なサ	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			コロナ禍ではあるが漸く落ち着いて定期的にアセス評価ができるようになった。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		外部団体発行のアセスツールを使用しながらチェックしているが全ての利用者に使用できていない。	遺憾ながら現況では感染症対策最優先となってしまっている。前年よりは良いが100%ではない
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			立案はチームで行なわず担当者制となっており、その担当者から職員に通知し協議をしている。	チーム参画できるようにはなかったがコロナ対策の為、活動プログラム自体が活発化できなくなった。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日ごとに違う療育プログラムを実行中。	

へ 援 の 提 供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休み前後に利用者評価ができるような状態になった	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者情報、近況等を踏まえ個別支援計画を作成している。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		『必ず』という部分では及第点に及ばない。	前年同様100%ではない。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	幹部職員による検討は行なうが一般職員を交えての全体共有は時間的に非常に困難。	送迎から帰社する時間帯がバラバラなので一斉集合する等の策が採れない。対策が必要だが有効策を見いだしていない
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			可能な限り文書化している。	簡素化且つ合理的な帳票記入への完全切替を完了した。
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			利用者にバラツキがあり定期的なモニタリングができていないケースも見られる。	コロナ禍ではあるがある程度の定期的(スレが最小)な実施ができるようになった。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○				コロナ対策にもあ良好な程度慣れた為、ある程度の組み合わせができるようになった
	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		全ての学校と情報共有が万全にできていない。	
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	該当者無し				
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	該当者無し				
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			当社を卒業する利用者が初めて発生した。連携は取れていると考える。	
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	残念ながら時間的な問題で研修受講はできていない	
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	全く行なっていない	
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	同上	
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎担当者が保護者と会話をする様になっている。	残念ながら十分な時間をとれてはいない
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレント・トレーニングを行なえるだけの環境、従業員資質が整っていない	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	該当者無し				新規利用者はゼロ
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		随時保護者から受付はしているものの、その結果が良好となっているのかが未詳。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会等、保護者相互間の取り組みに参加ができていない。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			職員→上長→幹部職員で対応。不可のときには第三者検討委員会に上程し指示を仰いでいる。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		定期的とまで言えないのが現状。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			二重三重のセキュリティ対策を講じている。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		100%完全に簡潔しているとはいえない。	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	一切行なっていない。	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			社内作成のものを有識者、専門業者等に校閲してもらっている。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練、備蓄品は充足しているほうかと考える。	更に充実した防災、避難器具を増とする計画となった。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		短時間パートタイマーが100%参加できていない。	コロナ対策の為特別休暇が増え思うような研修機会確保が困難になっている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束の定義を100%理解できていない従業員が居ることも事実である。	ケースに応じた判断ができるような仕組み作りが急務。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からの指示は受けるが医師の指示書を保護者にリクエストしたことはない。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。